



## 管内初！照明車を使って自治体へ電源供給支援

～令和3年12月1日からの暴風に伴う災害対応～

帯広開発建設部は、令和3年12月1日からの低気圧による暴風に伴う自治体支援のため、応援対策本部を設置し、下記の対応を行ったので、お知らせします。

### 記

- 更別村の特別養護老人ホームや福祉の里総合センターに**電源確保のため※照明車2台と可搬式発電機2台を派遣**し支援を行いました。  
※照明用電源を切り替えて、直接施設に繋げて建物内の電力として活用します。この活用方法は、胆振東部地震の際に道内で初めて活用され十勝管内では今回が初めてとなります。
- 十勝管内の国道8路線において緊急パトロールを行い、国道上に飛来した枝葉や倒木を撤去し通行の安全を速やかに確保しました。
- 自治体への支援等の様子は、別添を御参照ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

防災対策官 山本 裕之（電話番号 0155-24-3194 タイヤイン）

防災対策専門官 和田 章宏（電話番号 0155-24-3194 タイヤイン）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



- 管内では、低気圧の通過により11市町村で暴風や倒木により電柱等が破損し大規模な停電が発生しました。
- 帯広開発建設部では、被災した自治体への支援を迅速に行うため応援対策本部を設置し、支援要請のあった更別村に対し、照明車（2台）と発動発電機（2台）を貸与し電源供給の支援を行いました。これらの支援に対して、地域の皆様より感謝のお言葉を頂いております。
- 国道8路線では、安全を確認するため道路パトロールの回数を増やし、国道上に飛来した枝葉や倒木により通行の安全性が損なわれていた箇所は迅速に処置を行い、12月2日9：30までに通行を確保しました。



コム二の里さらべつ特別養護老人ホーム  
照明車による支援状況



コム二の里さらべつ特別養護老人ホーム  
照明車の機器説明状況



福祉の里総合センター  
発動発電機の機器説明・設置状況



国道236号（帯広市昭和町）  
折れた高木の処理状況



国道236号（更別村字更別基線）  
倒れてきている高木の処理状況



帯広・広尾自動車道（中札内IC～更別IC）  
飛来した枝葉の処理状況